

1 (5) 地域との連携

生徒会活動を通して自分の住む地域に貢献する中学生

👉 こんな実践

G中学校では、生徒会が中心となり地域へのボランティア活動の参加者を募る地域貢献活動が位置付いています。村が主催するロードレース大会に全校生徒のほとんどがスタッフとして参加し、大会を支えています。地域に生きる一人として自分の役割を果たそうとする中学生の姿が見られた実践です。

実践学校 G中学校

実践学年 全学年（生徒会活動）

実践時期 通年



大会参加者へ完走記念を手渡す中学生

- 一村に一枚のG中学校。そのため、村が学校に寄せる思いが強く、また学校や生徒も村と関わり、村を大切にしたいという思いを強くもっています。そして、中学生は村にとってなくてはならない存在になっています。
- 村は、平成8年度にロードレース大会を始めるにあたり、実行委員会を組織し、各種団体へ協力依頼をしました。その団体の一つにG中学校があります。当初は限られた生徒の参加でしたが、10年以上前から全校生徒のほとんどがスタッフとして参加し、大会を支えています。
- 生徒会顧問は、地域の人や社会との関わりから、喜びや達成感を味わい、自分が地域から必要とされていることを感じる機会にしたいと考えました。そこで、生徒会役員と相談し、生徒会活動の柱の一つとして地域貢献活動を位置付けました。
- 生徒会顧問は、生徒の思いを伝え合って活動を創り上げていきたいと考えていました。その考えを受け、生徒会長が生徒総会や生徒集会等で、地域貢献活動についての思いを全校へ伝え、ボランティア活動への参加者を募集するようにしました。

（前略）今までG中学校はボランティアを通して村に貢献し、地域や仲間との関わりを大切にできています。この受け継がれてきた伝統を大切に、今年度の生徒会では『つながり』を大切にしたい生徒会を目指します。私たちは、様々な活動において地域の方にお世話になっています。中学生が地域に出て行くことで、地域みなさんが笑顔になったり、助かったと思ってもらえたりする「ボランティア活動」に取り組みたいと考えています。地域の方々とつながることで生まれる充実感があると思います。そんな充実感を全校のみなさんにもってもらえるように、地域へ出てのボランティア活動を行っていききたいと思います。（後略）



生徒会長

○ 村が主催するロードレース大会に運営スタッフとして参加する中学生

生徒会が中心となり、ロードレース大会の運営ボランティアへの参加を募ると、全校のほとんどの生徒が参加し、大会を支えています。中学生は、受付係、給水係、表彰係、計測係など、一人一人に任された仕事を地域の方と一緒に取り組みます。ロードレースに参加した選手のみなさんに対して、自分から進んで「がんばってください」という声援や、「おつかれさまでした」と声をかけることで、選手のみなさんが笑顔になる姿を目の当たりにして、充実感を味わう様子が見ることができました。



給水係を務める中学生

【大会参加者の声】

大会に参加して一番感動したことは、トウモロコシの皮を不平も言わず一生懸命おむいていたボランティアの女子中学生の姿です。来年も絶対に参加したいと思います。中学生が係として参加しており、よいことだと思います。これからは中高生の参画が大切になります。



○ 大会を支える村民の皆さんや大会参加者の方との良い交流の場となっているとともに、大会運営の上でも中学生の力は大きな原動力となっています。

○ 生徒会では、ボランティア活動として学んだことを、文化祭の中で報告する機会を設け、保護者や地域の方に伝えています。



ここがポイント！

児童・生徒が地域に出て活動するときを考えておきたいことはなんでしょうか？

- ✓ 児童・生徒が地域に出て活動する機会は数多くあります。「地域に出て行けばなんとかなる」や「例年やっていることだから」といって活動を行っても、児童・生徒にとって自分事としての活動になっていきません。学ぶ場を地域に広げることで、児童・生徒にどんな力をつけていきたいか、教師側がきちんと構想しておく必要があります。

まとめ

- ・地域に足を運び、活動することを通して、地域に生きる一人として自分の役割を果たすことができます。そして、地域における世代を超えた交流の機会にもなります。
- ・地域の人や社会との関わりから、喜びや達成感、充実感を味わう生徒の姿に出会うことができます。また、地域の人から必要とされる経験を通して、自己有用感を育むことができます。